

# 09年度予算案

# 軍事費

(国民一人あたり約4万円)

# 4兆7741億円

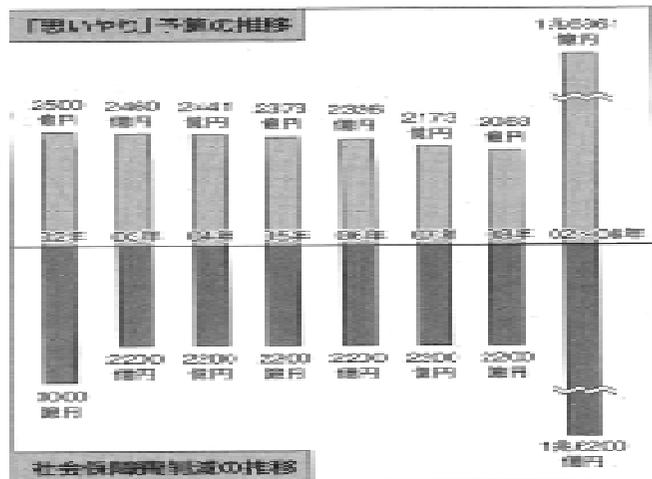
100年に一度の大不況の中で、国民の暮らし、雇用、営業はどん底。今こそ、国民の生活を支える施策が政治に求められています。ところが、国会で審議されている来年度予算案は、あまりにも国民に冷たく、軍事費に莫大な予算が組まれ、米軍には至れり尽くせりの内容となっています...



私たちの税金、こんな使われ方でいいの

米軍駐留経費	5000億円超
中小企業対策費	1934億円
雇用関係費	1890億円

国民には「痛み」を押し付け「思いやり」



軍事費削って暮らしに  
米軍に使う予算があるのなら  
暮らし、雇用、景気対策に回せ

## 軍事関連の予算案の3つの特徴

### グアム米基地に346億円 屈辱的「条約」の国会承認に反対を

日米両政府は、沖縄の海兵隊をグアムに移転させる費用として、日本61億ドル(出資・融資含む。財政支出は28億ドル)、アメリカ42億ドルの負担を決めています。米軍の司令部の建設、隊舎、学校、家族住宅(1万人分)、水道、電力の整備まで日本の負担です。これは、米軍再編強化の一環として行われます。

2月17日に日米で調印した協定は、分担を「条約」として確約するものです。世界に例のない屈辱的「条約」の国会承認に反対しましょう。(条約には、沖縄辺野古への新基地建設も含む)

### 米軍関係5000億円超

米軍への大盤振る舞いは、これだけにとどまりません。「在日米軍駐留経費負担」いわゆる「思いやり予算」は、今年も1928億円を計上しています。「米軍再編」経費も含めてこれらすべてを合計すると5000億円をゆうに超えます。

### 自衛隊の海外派兵を推進

もうひとつの予算案の特徴は、アフガニスタン本土への自衛隊派兵等の海外派兵のための装備の強化、弾道ミサイル防衛、宇宙の軍事利用には莫大な予算をつけていることです。

